

# 武田 康晴

職位

研 究 業 績

2026年4月1日現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（共著）	「ソーシャルワーク実践としての個別支援計画」「個別支援計画に関するQ&A」 谷口明広・小川喜道・小田島明・武田康晴・若山浩彦 著『障害のある人の支援計画 — 望む暮らしを実現する個別支援計画の作成と運用』中央法規、148-155、164-181 頁	2015年1月
著書（共著）	「個人別プログラム計画を作る」「個人別プログラム計画を実施して」「個人別プログラム計画の効用」 谷口明広・武田康晴 著『自立生活は楽しく具体的に — 障害をもつ人たちの個人別プログラム計画』かもがわ出版、51-156 頁	1994年10月
著書（分担執筆）	「座談会 唯一無二の人」「寄稿 谷口明広先生の魅力について」 鈴木隆子 著『障害があるからおもてかた〜車イスに乗った谷口明広ものがたり』クリエイツかもがわ、	2023年5月
著書（分担執筆）	「障害乳幼児の保育・療育」（1~4） 田中良三・湯浅恭正・藤本文朗 共編著『教師になるための特別支援教育』培風館、93-95 頁	2020年4月
著書（分担執筆）	「肢体障害をもつ人と参政権」 井上英夫・川崎和代・藤本文朗・山本忠 編著『障害をもつ人々の社会参加と参政権』法律文化社、27-40 頁	2011年4月
著書（分担執筆）	第9章「相談支援事業の役割と組織形態」、第10章「就労支援の新体系」、第11章「障害者総合支援法における多職種との連携」 大島侑 監修、村井龍治 編著『障害者福祉論—障害者自立支援の制度と方法—』ミネルヴァ書房、124 -159 頁	2010年3月
著書（分担執筆）	「相談援助の理念 その2」 成清美治・加納光子 編著『相談援助の基盤と専門職』学文社、89-102 頁	2010年2月
著書（分担執筆）	「自立支援へ向けた介護の視点」 遠藤英俊・坂本洋一・藤野信行 編著『障害の理解』建帛社、53-63 頁	2009年3月
著書（分担執筆）	「アドボカシー（用語解説）」「具体的な手順と可能性、限界、課題を知る（自立支援）」 七木田敦・安井友康 編著『事例で学び、実践にいかす 障害者福祉』保育出版社、86 頁・162-165 頁	2008年4月
著書	「障害児者福祉の問題を計21問」 社会福祉士・国試対策研	2007年8月

(分担執筆)	研究会『社会福祉士国家試験 模擬問題集—専門科目編—』久美、26—28・頁31—34頁・37—40頁・43—49頁	
著書 (分担執筆)	「これからの社会福祉援助技術」 基礎からの社会福祉編集委員会 編『社会福祉援助技術』ミネルヴァ書房、239—258頁	2005年3月
著書 (分担執筆)	「障害児者関係手当」 木村敦 編著『社会保障』学文社、112—118頁	2003年9月
著書 (分担執筆)	「障害者と共に生きる地域福祉実践の現状と課題」 竹原健二 編著『現代の障害者福祉学』小林出版、140—148頁	2000年4月
著書 (分担執筆)	「障害者福祉にかかわる人々」 児島美都子・成清美治・村井龍治 編『障害者福祉概論』学文社、111—124頁	1999年4月
著書 (分担執筆)	「権利としての社会保障施策」 児玉勇二 編『障害をもつ子どもたち』明石書店、201—226頁	1999年3月
著書 (分担執筆)	「肢体不自由(運動機能障害)者の基本的理解」「肢体不自由(運動機能障害)者の介護技術」 硯川眞旬 代表編集、西田一・勝山広子 編集『学びやすい障害形態別介護技術』金芳堂、61—78頁	1999年3月
著書 (分担執筆)	「身体障害をもつ人たちの性に関するQ&A」「ボランティアによる性的援助」 谷口明広 編著『障害をもつ人の性』明石書店、101—107頁・156—163頁	1998年2月
著書 (分担執筆)	「ボランティアとしての悩み(Q&A)」 小山隆・石田易司・谷口明広 編著『福祉ボランティア』朱鷺書房、142—143頁・151—152頁・160—161頁・210—212頁・223—224頁	1995年7月
著書(辞典) (分担執筆)	岡本栄一代表編『ボランティア・NPO用語事典』中央法規、122—123頁・131—132頁・152—153頁・167頁・168頁・169頁 171頁	2004年4月
著書(辞典) (分担執筆)	吉田宏岳監修『介護福祉学習事典』医歯薬出版、779—781頁	2003年2月
著書(辞典) (分担執筆)	成清美治・加納光子編『現代社会福祉用語の基礎知識』学文社、2頁・13頁・20—21頁・47頁・51—52頁・56頁・74頁・103頁・145頁・191頁・220頁・240頁	2001年4月
論文(単)	「熊本県における京都府災害派遣福祉チーム(京都 DWAT)の実践」『現代家政学研究 第6号』京都華頂大学現代家政学研究所、21—25頁	2017年3月
論文(単)	「地域福祉の視点による災害時要配慮者サポートシステムの構築」『京都華頂大学・華頂短期大学研究紀要 第60号』55—63頁	2015年12月

論文（単）	「京都府における福祉避難サポーター養成研修プログラムの開発と実施－災害時要配慮者支援を念頭に置いた地域づくりの取り組み」『夢・かけはし 第3号』京都華頂大学・華頂短期大学地域発展活性化センター、31－38頁	2015年3月
論文（単）	「個別支援計画による支援手法の確立に関する研究」『華頂短期大学研究紀要 第55号』33－46頁	2010年12月
論文（単）	「エンパワメントアプローチの実践に関する一考察Ⅱ－障害をもつ人たちのエンパワメントと地域力の関係を中心として」『華頂短期大学研究紀要 第52号』75頁－84頁	2007年12月
論文（単）	「エンパワメントアプローチの実践に関する一考察Ⅰ－エンパワメントの定義を類型化する3つのモデル」『華頂短期大学研究紀要 第51号』13－24頁	2006年12月
論文（単）	「障害をもつ人たちのファッション」『華頂短期大学研究紀要』75－87頁	2002年12月
論文（単）	「バリアフリー法と障害者の生活」『別冊 発達 第25号』ミネルヴァ書房、145－153頁	2001年4月
論文（単）	「障害をもつ人達の住環境自立を考える～人的環境としての介助を前提とした住環境の改善」『華頂短期大学研究紀要 第44号』58－71頁	1999年12月
論文（共）	林静香・高岡理恵・眞崎雅子・野田隆生・武田康晴「保育実習におけるスーパービジョンの機能に関する研究－実習後の学生インタビュー調査から」『京都華頂大学・華頂短期大学研究紀要 第70号』57－67頁	2026年3月
論文（共）	谷口明広・武田康晴・笠原千絵「障害のある人たちへの身体拘束に関する現状把握と対策」『更生の指標 2012年10月号』厚生労働統計協会、28－33頁	2012年10月
論文（共） （査読あり）	武田康晴・笠原千絵「事例調査からみた障害のある人の自立生活を支える地域力：自助、互助、共助、公助とその関連」『地域福祉研究』日本生命済生会、95－104頁	2008年3月
研究ノート （共）	高岡理恵・林静香・武田康晴・野田隆生・眞崎雅子「実習施設と養成校の連携した指導体制の構築－保育実習について現場の先生方と共に考える勉強会の開催から」『保育実践研究 第24号』華頂短期大学幼児教育学科、25－39頁	2025年3月
研究ノート （共）	高岡理恵・林静香・野田隆生・眞崎雅子・武田康晴「保育実習指導における実習評価に関する一考察－学生への成績評価に基づく演習を通じて」『保育実践研究 第22号』華頂短期	2023年3月

	大学幼児教育学科、13-22 ページ	
研究ノート (共)	高岡理恵・武田康晴・林静香「幼児教育学科における学内実習の展開」『京都華頂大学・華頂短期大学 教育開発センター研究報告書』19-24 頁	2021年3月
その他(単)	「災害時要配慮者支援と災害派遣福祉チームの活動②～災害派遣福祉チームによる活動の実際—保育士の活動を中心として」『保育通信 No. 804』全国私立保育連盟、4-7 頁	2022年3月
その他(単)	「災害時要配慮者支援と災害派遣福祉チームの活動①～災害時要配慮者支援と災害派遣福祉チームの概要」『保育通信 No. 803』全国私立保育連盟、10-12 頁	2022年2月
その他(単)	「個別支援計画の作成から運用まで」『知的障害者福祉研究 support 9月号』日本知的障害者福祉協会、10-12 頁	2021年9月
その他(単)	「アセスメントの技法と様式」『知的障害者福祉研究 support 7月号』日本知的障害者福祉協会、34-37 頁	2021年7月
その他(単)	「専門職による福祉支援に求められる専門性とは—災害派遣福祉チームの課題と展望」『月刊福祉 3』第 104 巻第 4 号、全国社会福祉協議会、21-23 頁	2021年3月
その他(単)	「災害派遣福祉チーム(DWAT)の活動と運営」『月刊福祉 10』第 103 巻第 9 号、全国社会福祉協議会、82-84 頁	2020年10月
その他(単)	「災害時の福祉支援体制の構築と災害派遣福祉チームの活動」『ぜんほきょう No. 323』全国社会福祉協議会全国保育協議会、2-5 頁	2020年3月
その他(単)	「いま、地域のなかで社会福祉法人に求められている災害対策とは」『経営協 vol. 419』全国社会福祉協議会全国社会福祉法人経営者協会、16-19 ページ	2018年8月
その他(単)	「全ての障害者の暮らしと相談支援が充実するための課題」『手話問題研究 122号』全国手話問題研究会	2012年12月
その他(単)	「障害をもつ人の主権に関するバリアフリー」総合社会福祉研究所編『福祉のひろば 2009年7月号』かもがわ出版、75 頁	2009年7月
その他(単)	「生活を楽しむということ」全国精神障害者家族会連合会編『季刊精神保健福祉情報 Review』vol. 14 No. 3、14-17 頁	2006年5月
その他(単)	「障害のある人達のファッション」『第 15 回 京都市地域リハビリテーション交流セミナー 報告書』京都市地域リハビリテーション協議会編	2004年2月
その他(単)	「釣りに障害なし」大阪頸髄損傷者連絡会編『頸損だより 2000 夏 No. 74』60-62 頁	2000年6月

その他（単）	「障害をもつ人達と共に」大阪頸髄損傷者連絡会編『頸損だより 2000 夏 No. 73』48－50 頁	2000 年 3 月
報告書（共） 厚労科研	主任研究者：谷口明広、分担研究者：小田島明・笠原千絵・武田康晴・永田祐・笠原千絵「ライフステージを包括する地域生活支援システムの構築を目指す相談支援事業のあり方と自立支援協議会機能に関する研究」総括研究報告書、平成 19 年度厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業、3－11 頁・54－61 頁	2008 年 3 月
報告書（共） 厚労科研	主任研究者：谷口明広、分担研究者：小田島明・笠原千絵・武田康晴・永田祐「地域移行を推進していく施設内個人別プログラムの構築と入所施設利用者および施設職員のホスピタリズム改善に関する研究」総括研究報告書、平成 18 年度厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業、10－14 頁・81－95 頁・108－118 頁	2007 年 8 月
報告書（共） 厚労科研	主任研究者：谷口明広、分担研究者：小田島明・武田康晴・永田祐「地域づくりと関連した効果的な地域生活支援サービス体制の在り方と「地域力」の再構築に関する研究」報告書、平成 17 年度厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業、78－88 頁・109－119 頁・126－127 頁、130－132 頁、137－141 頁	2006 年 3 月
報告書（共） 厚労科研	主任研究者：谷口明広、分担研究者：小田島明・武田康晴・土屋健弘「障害者のエンパワメントの視点と生活モデルに基づく具体的な生活支援技術に関する研究」報告書、平成 16 年度厚生労働科学障害保健福祉総合研究事業、7－12 頁・60－67 頁・84－103 頁・109－112 頁	2005 年 3 月
報告書（共） 厚労科研	主任研究者：小川喜道、分担研究者：橋本義郎・武田康晴「障害者（児）の地域生活支援のあり方に関する研究」報告書、平成 15 年度厚生労働科学特別研究事業、69－118 頁・203－232 頁・280－315 頁	2004 年 3 月
報告書（共） 企業・団体	主任研究者：谷口明広、分担研究者：笠原千絵・武田康晴・笠原千絵「障害者身体拘束に関する調査研究（サービス実態調査）」報告書、京都府・京都府身体拘束防止推進会議障害者部会、55－66 頁	2011 年 3 月
報告書（共） 企業・団体	委員長：谷口明広、委員：小川喜道・小田島明・武田康晴・笠原千絵「個別支援計画の人材育成についての調査研究事業」報告書、財団法人日本障害者リハビリテーション協会（独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業）、21－23 頁、61－69 頁	2011 年 3 月

報告書（共） 企業・団体	委員長：谷口明広、委員：小川喜道・小田島明・武田康晴「効果的な個別支援計画作成の普及事業」報告書、財団法人日本障害者リハビリテーション協会（独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業）8-13頁、68-73頁、90-94頁	2010年3月
報告書（共） 企業・団体	主任研究者：播磨靖夫、分担研究者：最上聡・武田康晴他「障害のある人の情報リテラシー」研究事業報告集、社会福祉法人わたぼうしの会（社会福祉・医療事業団「高齢者・障害者福祉基金」）共同研究のため執筆箇所抽出不可	2003年3月
報告書（共） 企業・団体	主任研究者：武田康晴、分担研究者：谷口明広・土屋健弘「「介助」という視点からとらえた、障害をもつ人達の住環境Ⅱ—介助を前提とした住宅改造と住居環境を模索する」『愛の輪紀要 NO. 15』広げよう愛の輪運動基金、49-84頁のうち共同執筆のため執筆箇所抽出不可	1999年4月
報告書（共） 企業・団体	主任研究者：武田康晴、分担研究者：谷口明広・土屋健弘「「介助」という視点からとらえた、障害をもつ人達の住環境—介助を前提とした住宅改造と住居環境を模索する」『愛の輪紀要 NO. 14』広げよう愛の輪運動基金、113-128頁のうち共同執筆のため執筆箇所抽出不可	1998年4月
報告書（共） 企業・団体	主任研究者：谷口明広、分担研究者：武田康晴・土屋健弘「重い障害をもつ人達の住環境に関する調査研究Ⅲ 身体障害者と住環境—住環境における概念整理と改造例の考察を中心として」『愛の輪紀要 NO. 13』広げよう愛の輪運動基金、15-36頁のうち共同執筆のため執筆箇所抽出不可	1997年4月
報告書（共） 企業・団体	主任研究者：谷口明広、分担研究者：武田康晴・土屋健弘「重い障害をもつ人達の住環境に関する調査研究Ⅱ 身体障害者と住環境—住環境におけるソフト面を中心として」『愛の輪紀要 NO. 12』広げよう愛の輪運動基金、251-285頁のうち共同執筆のため執筆箇所抽出不可	1996年4月
報告書（共） 企業・団体	主任研究者：谷口明広、分担研究者：武田康晴「重い障害をもつ人達の住環境に関する調査研究 身体障害者と住環境—住環境におけるソフト面を中心として」『愛の輪紀要 NO. 11』広げよう愛の輪運動基金、215-237頁のうち共同執筆のため執筆箇所抽出不可	1995年4月
制作物（単）	DVD教材『ソーシャルワーク基礎セミナー2013』NPO法人 Create、disk1~4で合計206分	2013年10月
制作物（単）	DVD教材『ソーシャルワーク基礎セミナー』NPO法人 Create、disk1~4で合計511分	2012年7月

制作物（共）	武田康晴 監修『福祉避難サポートリーダー養成研修テキスト』京都府災害時要配慮者避難支援センター、1頁・5-15頁・29-46頁	2017年3月
制作物（共）	委員長：菊本圭一、委員：清水剛一・武田康晴他『地域自立支援協議会における相談支援検証ガイドラインミラクルブック』埼玉県障害者相談支援専門員協会、共同作成のため執筆箇所抽出不可	2009年3月
制作物（共）	京都市身体障害者団体連合会 編集『京都市ハンディマップ～身体の不自由な方のためのガイドブック』京都市、調査と執筆	2008年2月
制作物（共）	代表：武田康晴、共同制作：土屋健弘『住環境改善ハンドブック』ユーザー編、ノーマリゼーション研究所	2000年4月
制作物（共）	代表：武田康晴、共同制作：土屋健弘『住環境改善ハンドブック』支援者編、ノーマリゼーション研究所	2000年4月
口頭発表（単）	「災害福祉支援からみた、保健/医療活動との協働」第29回日本災害医学会総会 学術集会 シンポジウム4	2024年2月
口頭発表（単）	「個別支援計画による支援手法の確立に関する研究」日本社会福祉学会第58回全国大会	2010年10月
口頭発表（単）	「障害をもつ人のライフサイクルを通して連動する自立生活支援に関する研究」日本社会福祉学会第56回全国大会	2008年10月
口頭発表（単）	「障害をもつ人達の「余暇の自立」に関する研究Ⅲ」日本社会福祉学会第45回全国大会	1997年10月
口頭発表（単）	「障害をもつ人達の「余暇の自立」に関する研究Ⅱ」日本社会福祉学会第44回全国大会	1996年10月
口頭発表（単）	「障害をもつ人達の「余暇の自立」に関する研究—自立生活概念の細分化～第6番目の自立を目指して」日本社会福祉学会第43回全国大会	1995年10月
口頭発表（共）	○谷口明広・武田康晴・笠原千絵「障害のある人達への身体拘束防止に関する現状把握と対策に関する研究」日本社会福祉学会第59回全国大会	2011年10月
口頭発表（共）	○谷口明広・武田康晴「個別教育計画（IEP）と「個別支援計画（IPP）の連続性に関する研究」日本社会福祉学会第57回全国大会	2009年10月
口頭発表（共）	○武田康晴・谷口明広「地域作りと関連した効果的な地域生	2006年10

	活支援サービス体制の在り方と地域力の再構築に関する研究Ⅱ」日本社会福祉学会第54回全国大会	月
口頭発表（共）	○谷口明広・武田康晴「地域作りと関連した効果的な地域生活支援サービス体制の在り方と地域力の再構築に関する研究Ⅰ」日本社会福祉学会第54回全国大会	2006年10月
口頭発表（共）	○谷口明広・武田康晴「障害者（児）のエンパワメント視点と生活モデルにおける支援に関する研究Ⅱ」日本社会福祉学会第53回全国大会	2005年10月
口頭発表（共）	○武田康晴・谷口明広「障害者（児）のエンパワメント視点と生活モデルにおける支援に関する研究Ⅰ」日本社会福祉学会第53回全国大会	2005年10月
口頭発表（共）	○武田康晴・谷口明広「障害者（児）に対する地域生活支援の在り方に関する研究Ⅱ」日本社会福祉学会第52回全国大会	2004年10月
口頭発表（共）	○谷口明広・武田康晴「障害者（児）に対する地域生活支援の在り方に関する研究Ⅱ」日本社会福祉学会第52回全国大会	2004年10月
口頭発表（共）	○土屋健弘・武田康晴・谷口明広「身体障害をもつ人達の住環境に関する調査研究Ⅳ—介助を前提とした住環境に関する調査から」日本社会福祉学会第46回全国大会	1998年10月
口頭発表（共）	○谷口明広・武田康晴・土屋健弘「身体障害をもつ人達の住環境に関する調査研究Ⅲ—介助を前提とした住宅改造と住居環境を模索する」日本社会福祉学会第45回全国大会	1997年10月
口頭発表（共）	○谷口明広・武田康晴・土屋健弘「身体障害をもつ人達の「住環境」に関する調査研究Ⅱ—住環境における概念整理と改造例の考察を中心として」	1996年10月
口頭発表（共）	○谷口明広・武田康晴・土屋健弘「身体障害をもつ人達の「住環境」に関する調査研究—京都市におけるアンケート調査を中心として」日本社会福祉学会第43回全国大会	1995年10月
口頭発表（共）	○武田康晴・谷口明広「障害をもつ人達の個人別プログラム計画に関する研究—関連施設における実践を通して」日本社会福祉学会第42回全国大会	1994年10月